

子どもを志望校に合格させた親の習慣



本編の一部を抜粋しています。

サンプルのため、画質を落としています。

〒 921-8064
石川県金沢市八日市 1-735-1
電話 076-280-2585
メール info@koukougokaku.com

安村知倫

『子どもを志望校に合格させた親の習慣』をご購入いただき、ありがとうございます。

本書では「高校受験を成功させるのに親は何をすればいいか」を書きました。

中でも、子どもが志望校に合格していった親の習慣を10にまとめています。

本書が少しでもお役に立ち、お子さんが志望校に合格して、家族の皆様が幸せになられることを願っております。

第1章 受験生の親がしてはいけない3つのこと・・・3

第2章 学習面のサポート・・・6

- 1の習慣 勉強場所を整える・・・6
- 2の習慣 必要な問題集を選び与える・・・10
- 3の習慣 効率の良い学習計画を立てる・・・14
- 4の習慣 子どもに合った塾を選ぶ・・・17
- 5の習慣 家族みんなで受験校を決める・・・27

第3章 精神面のサポート・・・33

- 6の習慣 受験は成長の機会と考える・・・34
- 7の習慣 子どものやる気を出させる・・・36
- 8の習慣 自己肯定感を高め、反抗期を乗り越える・・・40
- 9の習慣 成績が下がってもあわてない・・・43
- 最後の習慣 自分の不安をコントロールする・・・47

第1章 受験生の親がしてはいけない3つのこと

最初に、受験生の親がしてはいけない3つのことをお伝えします。

多くの受験生と保護者の方と接してきた経験から、残念なことに親の言動が受験にマイナスとなってしまうことがあります。

少し耳の痛い話もあるかもしれませんが、3つのことを心に留めていただき、お子さんと一緒に高校受験を成功させてください。

1、イライラ・不安を子どもにぶつける



子どもが勉強しない、成績が伸びない、志望校の判定が悪いなど、受験ではイライラしたり不安になることが多く起こります。

親ならば「子どもに合格してほしい」と願うのは当然ですが、その願いが強いほど不安やイライラも大きくなるようです。

でも、自分の不安やイライラを子どもにぶつけないようにしたいです。

思わず「合格できないよ!」「志望校下げなさい!」「バカ!」などと言ってしまうと、子どもは傷つきます。

親に不信感を抱き、反発して言うことを聞かなくなるでしょう。

反発する元気があるのならいいのですが、「お母さんは私を嫌いだ」などと悲観して考える子もいます。

「親から見捨てられた」「ボクはダメな子だ」「高校なんか行きたくない」と生きるエネルギーをなくしてしまう子もいます。

子どもは親の鏡です。

親の言動が子どもに映し出されます。

イライラする気持ちはよく理解できますが、その感情をお子さんにぶつけないようにしてください。

感情をぶつけることは、ご自身のストレス発散にすぎません。

イライラや不安を小さくする方法は、第3章でお伝えします。

4の習慣 子どもに合った塾を選ぶ



家庭学習だけでは心配・・・わからないことを教えてもらいたい・・・

そんなときは学習塾に手伝ってもらいましょう。

お子さんに合った塾の選び方、成績が上がる塾の選び方を紹介します。

子どもの声を聞く

私の塾では入塾前の体験学習の際に、アンケートに回答してもらいます。

塾へ来た動機として「親が行けと言ったから」と答える子がいます。

残念ながら、親の意志だけで塾に来る子は伸びません。

イヤイヤ来た。勉強をやらされる。親が言うから仕方がない。

このような意識で成績が伸びることはありません。

お子さんを塾へ行かせようと思うなら、**本人が少しでも「勉強がんばりたい」と思っていることが大切**です。

塾のメリット・デメリット

同業が言うのもおかしいですが、塾にも選び方があります。

家庭教師をつけるにしても、注意しなければならないことがあります。

これから塾を考える方は、2つのポイントを参考になさってください。

塾にはいろいろなタイプがあることはご存知のとおりです。

大手塾・個人塾・集団授業・個別指導・・・・

それぞれのメリット・デメリットがあります。

1つのポイントは、**塾の良い面と悪い面の両方を理解して選ぶこと。**

一方、お子さんに何が必要かを把握しておくことも大切です。

例えば、数学だけなんとかかしたいなら、個別の単科塾。

ライバルと競い合わせたいなら大手の黒板授業の塾。

2つ目のポイントは、**お子さんの成績、性格や希望と照らし合わせること。**

では、集団塾と個別指導のメリット・デメリットを確認します。

良い面と悪い面の両方を知ってから、塾選びをスタートしてください。

集団指導メリット

大きい塾は安心感がある

合格実績

ライバルが多く、競争できる

個別指導メリット

ひとりひとり見てもらえる

相談などしやすい

通塾曜日の融通がきく

集団指導デメリット

質問がしにくい

個人の苦手に合わせてない

一人ひとりに目がとどきにくい

個別指導デメリット

費用が高くなりやすい

学生の先生が多い

競争意識が少ない

いかがでしょうか。

集団塾の中には1 : 1の個別指導もしている塾や、個別でも素晴らしい合格実績をあげている塾もあります。

くり返しますが、どんな塾でも良い面と悪い面の両方を理解しておくことが大切です。

情報を冷静に見る、聞く。



塾について、いろいろな噂話や評判を聞いたことがあると思います。

「近所のAくんは〇〇塾で成績が伸びて志望校に合格できた。」

そう聞くと、いかにも〇〇塾は良さそうと思われそうです。

お子さんもAくんと同じように〇〇塾で合格してほしいと願うでしょう。

しかし、あなたのお子さんとAくんは別の人間だということも冷静に考えておきましょう。

うわさになるほどAくんは目立ったということだけで、〇〇塾にはそのほかに大勢の生徒がいるはずですよ。

なかには志望校に落ちてしまった子もいるかもしれません。

当たり前ですが、チラシなどの広告は塾の良い面しか見せていません。

噂や評判も、その塾の一面を言っているにすぎないと考えてください。

塾はお子さんとの相性

それでは、お子さんの塾選びは何を判断材料にすればいいのでしょうか？

それは「**うちの子にとってどんな塾がよいのか？**」を考えることです。

- 集団授業では質問もしにくい。少人数のほうがいい
- 友達と競争したほうが、うちの子にはよさそう
- 1対2くらいでじっくりみてもらったほうがいい
- 家から近くて通いやすいのが一番みたいだ
- やさしい女性の家庭教師がいいだろう
- うちの子は英語だけ習いたいから英語専門塾へ

送迎や費用など家庭の都合もあるでしょうから、お子さんに伝えてください。

お子さんの希望を聞きだし、できるだけ希望に沿うようにしていきます。

互いの考えを出し合ったら、候補の塾をいくつかあげていきましょう。

候補の塾はぜひ体験授業を受けさせてください。

入塾したあとで「こんなはずじゃなかった！」と後悔するのは悲しいです。

体験学習でのチェックポイントをあげておきますので、参考にされてください。

体験学習でのチェックポイント

- ✓ 教室の雰囲気はどうか（質問できそうか）
- ✓ 先生はどんな人か（先生との相性も大切です）
- ✓ 授業はわかりやすいか（塾なのでわかりやすくて当然です）
- ✓ 静かで集中できるか（さわがしい塾もあります）
- ✓ 宿題はどれくらい出るか（学校との両立に無理がない量か）
- ✓ 自習室は使えるか（毎日でも利用できるのがベスト）

体験授業の感想として「想像とは違った」ということも珍しくありません。

少なくとも4回ほど体験をして、生活リズムの変化を確認しておきたいです。

宿題や送迎は問題ないでしょうか？

親子ともに続けていけそうなら正式な入塾を検討します。



体験したからといって、必ずしも入塾する必要もありません。

いくつかの塾を体験させて、ベストと思われるところに通わせましょう。

本人も家族も納得して入塾することが大切です。

成績が上がる塾とは？

ここまで、お子さんにとって良い塾を探す方法をお伝えしてきました。

一方、保護者の方は「お子さんの成績アップ」をお望みでしょう。

もちろん、最終目標は志望高校の合格だと思えます。

塾の役割は成績アップです。

さらに、生徒を志望高校に合格させることです。

しかし、現実として塾に行けば自動的に成績が上がるわけではありません。

なぜ塾に行っても成績が上がらない子がいるのでしょうか？

その原因は、塾で教えてもらっても**子どもが自分でできるようにならないと成績は上がらないからです。**

テストでは子どもが誰にも教えてもらわずに自分の力だけで問題を解きます。

塾で「わかった！」と満足しているだけでは、テストはできません。

子どもが自分で問題を解いて正解できてはじめて、テストでも解けます。

そこで多くの塾は、宿題や小テストで知識や解法を定着させようとします。

宿題で反復練習をさせたり、小テストで確認をさせたりします。

つまり成績が上がる塾とは、

子どもが自分で問題を解くことができるようになる仕組みがある塾です。

塾は、子どもが自分で問題を解けるようになるために利用する手段の一つです。

塾へ通っても、宿題をしなければ成績は上がらないと考えてください。

教えてもらったことが定着しなければ、点数に結びつくこともありません。

定着するかしないかは、塾の指導方法と本人の努力によって決まります。



これはお子さんとの相性に加え、塾選びで大切なポイントです。

お子さんが自分で問題を解けるようになれば、成績が上がります。

ですから、先生に教えてもらったあとで、お子さん自身が問題を解きなおよす時間があるかどうかを体験学習で確かめてください。

お子さんに知識を定着させるような宿題やテストがあるかどうかをチェックしてください。

宿題を出しっぱなしで点検すらない塾。

小テストや確認テストがない塾。

それらは月謝を払っても、お子さんの成績に反映されることはないでしょう。

8の習慣 自己肯定感を高め、反抗期を乗りきる

家族が「合格できる」という空気をつくって励ますと同時に、

お子さん自身が「合格できる」と信じられるようにしてあげてください。

「ぼくはできる人間だ」「私はすばらしい人間だ」

このように自分を肯定する気持ちを『自己肯定感』と言います。

中学生で自分に自信のある子はとても少なく、自己肯定感が低いです。

とくに受験生は不安な気持ちも手伝って、自己否定さえしています。

あなたのお子さんも心の中で「自分に自信がない」と考え、受験についても

「だめだったら、どうしよう」「落ちたら、恥ずかしいな」と思っています。

そんなときこそ、お父さんやお母さんが自信を与える言葉をあげてください。

具体的には、**お子さんの現在や過去を褒めてあげること**をおススメします。

「やめたいと言っていた部活動も最後まで続けたな。頑張ったな。」

「目標を決めて努力しているね。あなたなら合格できるわ。」

「勉強頑張っているじゃないか。素晴らしいぞ。」

どうぞ、お子さんの自己肯定感を高めてあげてください。

自己肯定感の高い子どもは、合格に向かって努力ができます。

なぜなら「私なら合格できる」と信じているからです。

反抗期だと感じたら

入試が近づくにつれて、お子さんの言葉遣いが荒くなるかもしれません。
ときには「うるさい!」「ウザい!」などと反発する態度もあるでしょう。
そんなときは、このように受け止めてください。

不安や心配を親にぶつけている

何度もお伝えしているように、受験生は不安でいっぱいです。

不安や心配をどうすることもできないとき、親に八つ当たりします。

本心では「不安が消えてほしい」「助けてほしい」と願っています。
しかし、自立心も育ってきているため、言い出せない子もいます。
親に言うのはカッコワルイ・ハズカシイと考える子も多いです。

イライラを親にぶつけている

頑張っているのに成績がふるわないと、だれでもイライラします。
ふがいない自分や努力が結果につながらないことに腹が立っています。
そのイライラをぶつけるのは、やはり親です。

親に腹を立てているわけでも、親がきらいなわけでもありません。

甘えの一種ですので、温かく受けいれてあげてください。

この試練を乗り越えれば、お子さんはたくましく成長します。

子どもはいつも親を気にかけています

あなたは、子どもが一番喜ぶのはどんなときかわかりますか？

成績が上がったとき？高校に合格したとき？

違います。お父さんやお母さんに褒められたときです。

一番身近な家族に褒められると、自分は生きていていいのだと思えます。

一番身近な家族に認められると、自分は価値ある存在だと思えます。

私はときどき授業でモチベーショントーク（気持ちを高める話）をします。

ある日、生徒達にこんな質問を投げかけました。

尊敬する人は？

「両親です！」とこたえる生徒が少くないのです。

また、第一志望の高校に落ちた子は私に言うのです。

「親に迷惑かけてしまった。」「親に申し訳ないと思う。」「親に悪いことした」

お子さんは親の期待にこたえたいと思っています。

お子さんが困ったとき、頼るのはだれでしょう。

今はクラスの友達や部活動の仲間が相談しやすいでしょう。

しかし、大人になってから一番頼りになるのは親です。

どうか、**お子さんにとって最良の受験パートナーであってください。**

サンプルは以上です。

本編の一部抜粋ですので、中途半端な点はご了承ください。

また、不躱な表現もあったかもしれません。ご容赦ください。

本編は50ページあり、サンプルの3倍以上の内容があります。

お子さんの高校受験について悩む気持ちが少しでも軽くなり、

親子で受験を成功させる一助になれば幸いです。

お子さんが志望校に合格され、家族の皆様が幸せを感じられることを願っています。



お申し込みは公式ページで

<http://yasumura.info/jyukeno.html>

安村知倫